ここまで読んでくださった皆さんは、モンゴルについてどのような印象を持たれたでしょうか。モンゴルの大部分の人が遊牧民だと思われた人も多いのではないでしょうか。しかし、モンゴルでは既に昔ながらの生活を営む遊牧民はマイノリティで、遊牧を廃業し、都会に移り住む傾向にあります。

都会での生活は、イメージする大草原の牧歌的生活とはかけ離れて、様々な問題を抱えているのが現状です。経済状態は決して安定しているとは言いがたく、社会的格差は広がり、失業者や貧困層が多いことや、親に捨てられマンホールの中で生活する子供たちの存在は大きな社会問題となっています。

平均マイナス30度の寒さが続く冬のウランバートル(首都)では、暖房用の温水が通るマンホールの中でしかストリートチルドレンは生きられないのです。マンホールの中に入ったことはありませんが、マンホールの中は汚水が溜まり、ゴミは散乱し、凄まじい悪臭がし、とても人間が住める環境ではないそうです。

モンゴルを旅するアプローチの仕方は、様々な方法があると思います。事前に全く何も調べずに真っ白な状態で行き、モンゴルの全てを全身で感じるのも一つの方法だと思います。しかし、事前に書籍などで、政治・文化・社会・風俗・宗教など、自分の興味に応じた切り口で知識を身に付けておくと、その旅がより深く感じられることは間違いありません。そして、身に付けた知識の真偽を最終的に判断し、それをどう受け止めるかは、旅をしているあなたです。

また、帰国後も出会った人々を大切に思い、交流を続けたり、あなたが感じたこと、興味をもったことに対して書籍などで調べたり、そこで感じた思いや情熱を形にするために悩んだり、考えたり、実際の行動に移したりすることによって、その旅はまだまだ続いていくのです。旅の終わりを決めるのは、あなた自身の心にあると思います。

あなたが大きな意味での旅を続けることを希望すれば、その気持ちに図書館は応えることができます。旅を始めたいと思っているあなた、また旅を続けていきたいあなた、図書館を旅の経路の一つに加えてみませんか。

世界を旅する(体験記)として、今回はモンゴルの旅を紹介しました。このシリーズはまだまだ続きます。さて次はどこの国を紹介するのかどうぞお楽しみに！
続きは同志社大学図書館HPの「DOORSサプリ」に近日中にUPの予定です。
http://www.doshisha.ac.jp/library/topics/index.html

## DOORSサプリ 旅への誘い
－参考文献一覧に代えて－

### 学問の旅をしたいあなたは・・・【本を開けばそこはもう別世界！】

| タイトル/著者 | 請求記号 | 配架場所 | ひとことコメント |
|---|---|---|---|
| スーホの白い馬:モンゴル民話/大塚勇三再話;赤羽末吉画 | 726.6 \| \| 09742 | 女子大京田辺図書館 | 最大手ネット書店にてキーワード「モンゴル」で売上・オススメ共にNO.1(2008年8月現在)。国語の教科書(小学2年生)によく掲載されます。 |
| | 726.6 \| \| 09742 | 社会学部図書室 | |
| モンゴル：民族と自由/田中克彦著 | 3階北書庫 302.22\|\|T372 | 今出川図書館 | 出版当時(1992年)と今日との比較から、民主下で新たに「自由」が脅かされる事実が浮彫りに。 |
| | 文庫・新書　ID\|\|\|\|113 | ラーネッド記念図書館 | |
| | 文庫・新書　ID\|\|\|\|113 | 女子大京田辺図書館 | |
| モンゴルを知るための60章/金岡秀郎著 | 他館から取寄せ or 公共図書館を利用してみる | 京都府立図書館他 | この国を学ぶことによって日本や世界が見えてくることもある。我々に自然への礼讃と工業化への反省を促すモンゴルという国とは。モンゴルを多角的に論じた1冊。 |

### 体験型の旅をしたいあなたは・・・【図書館以外でも本学でできること】

| こんなとき… | 紹　介 | 問い合わせ先 |
|---|---|---|
| 興味はあるけど何をしたらいいか、わからない。 | ◎S-cubeのびあメンター制度<br>定期的に同志社アーモストフェローや経験者から、直接お話が聞けます。<br>◎S-cubeセミナー<br>様々な経験者やNPO団体の方々から色々なノウハウを伝授。<br>◎随時その他色々な相談や、経験者の方の紹介もしてくれます。 | 京田辺学生支援課<br>(嗣業館1階) |
| モンゴル体験ってどんな感じ？ | 「セルフ・ディスカバリー・プログラムinモンゴル」(内モンゴル自治区)<br>視聴ビデオ(2006年8月実施)<br>http://www.doshisha.ac.jp/students/support2/kaprog/self_discovery.php<br>先輩方の体験の模様を見てみよう！ | 本学HP→在学生→課外プログラムからWeb上で視聴できます。 |
| 英語力に自信がない・・・ | e-Learning自習教材『NetAcademy2』で英語力アップ↑↑↑<br>http://www.doshisha.ac.jp/students/curriculum/e-learning/<br>・本学の学部生・大学院生が対象です。　※正規学生のみ。<br>・登録料・利用料は不要です！　※利用申請書を提出してください。<br>・自宅からでもアクセスできます。　※インターネット接続環境が必要です。 | 教務課<br>(今出川 弘風館1階)<br>教務事務センター<br>(京田辺 嗣業館1階) |

同志社大学 総合情報センター報　No.33　2008年11月1日発行
編集・発行：同志社大学総合情報センター　〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入
Tel：075-251-3960　E-mail：ji-gakjo@mail.doshisha.ac.jp
http://www.doshisha.ac.jp/library/



同志社大学
2008 Nov.
No.33

# 総合情報センター報
Library and Information Technology Center

CONTENTS

特集　大英博物館から大英図書館へ …… 1
「同志社大学学術リポジトリ」の現状と今後
～国内外における機関リポジトリの潮流～… 3
学外の資料を利用するには …… 4
サイトライセンスソフトウェアの利用に
関するサービスについて …… 6
Macを体感する …… 7
所蔵資料紹介
伊達家関連　香道茶道資料 …… 8
クラーク記念館は語る ……10
SINET3を利用した未来の電話
「t-Room」の実験について……10
DOORS　サプリ体験記
世界を旅するⅠ　モンゴル編 ……11

## 特集 大英博物館から大英図書館へ

総合情報センター所長　真銅正宏

大英図書館は、1972年に成立した英国図書館法に基づき、1973年に創設された。正式には大英博物館図書館、国立中央図書館、国立科学発明参考図書館、国立科学技術図書貸出図書館、英国全国書誌局が合併してできた組織である。それまでは、大英博物館の中庭の円形読書室が、英国を代表する図書館としての象徴的役割を担っていた。カール・マルクスやマハトマ・ガンディー、ウラジミール・レーニンなどが通ったことで有名なここには、南方熊楠や夏目漱石など、多くの日本人もまた学んでいる。この大英博物館の入り口すぐの空間は、2000年に、屋根付きのグレイト・コートとして改装され、閉架式書庫は取り壊されたが、中央にはやはりドーム屋根をもち、開架式の棚を周囲に廻らした読書室が往時の姿を残している。

福原麟太郎『春興倫敦子』(研究社、1935年)

大英図書館が組織として整えられた1973年の段階では、建物自体は未だ無く、大英博物館の読書室などが引き続き用いられていた。大英図書館が大英博物館から実際に分離独立したのは、1998年4月のことである。ユーストン駅、キングズ・クロス駅、セント・パンクラス駅の三つの駅からも近い場所に建てられた新しい建物に移転したのである。

そもそも大英博物館は、1753年に没したハンス・スローン卿のコレクションをもとに、長い年月をかけて、さまざまな寄贈品と購入品を加えて、収蔵品を増やしていった博物館である。その中に、写本などの書籍資料も数多く含まれていた。そのために、当初から大英博物館は、博物館と図書館の機能とを併せ持っていた。ハンス・スローン卿の写本は3516点とされるが、ここに、1758年、ハーリー・コレクションとコットニアン・ライブラリーのコレクションなどが加えられ、1757年には、王室の蔵書が10500冊寄贈された。この後、1852年から1857年にかけて、中庭に円形のドームをもつ読書室が建設された。

内藤民治編『世界実観』第三巻(日本風俗図絵刊行会、1915年)

1911年には著作権法が成立して、英国国内で発行される全ての書籍と定期刊行物がここに収められることになった。日本における国立国会図書館の役割と同じである。日本がこれに学んだのである。

さらに、古い時代の聖書や、『マグナ・カルタ』、最古の印刷物とされる中国の経典、シェークスピアの初版本などが収められ、比較的新しいものでは、トラファルガーの海戦の英雄ネルソン提督の日誌や、ルイス・キャロルの『不思議の国のアリス』の直筆原稿や直筆挿絵から、ビートルズのYesterdayの直筆歌詞など、世界中から集められた実に貴重な収蔵物が保管されている。

馬郡健次郎『欧羅巴案内』(内外社、1933年)には、次のように紹介されている。

**羅馬のセントピーター寺院のドームより直径の大きい円屋根を戴き、その高い窓からトップライトの光線が水の様に静かに読書室を満しておる、索引棚と係員の控へてゐる環状の中心点から読書机の列が放射状に周囲の壁に向つて配置され、壁には参考書の書棚が三階になつて読書室をぐるりつと取囲みドームの高窓の下まで届いてゐる。そして窓枠の下には一々金文字でシエクスピヤとかミルトンとか文豪の名前が記されてゐる之は大英博物館の図書館の読書室である。けれども単に読書室と云つただけでは物足らぬ。文化の殿堂と云ひ度い程に厳粛な空気が存在してゐる。数百の人が勉強に来て居るが各自の書斎に居るよりもモット静かで落付いた気持ちで本が読める。自分一人が此の殿堂を占有してゐる様に少しも他から妨げられることはない。設備も設備であるが図書館を利用する英国人の心が此の設備と融合してそこに渾然たる雰囲気を造つてゐるのである。**

仲摩照久編『世界地理風俗大系』第10巻(新光社、1929年)

これは、図書館閲覧室の理想的な姿の一つであろう。しかしながら、時代は移り変わる。インターネットを中心に、情報の形が多様化し、学術情報が書籍だけを意味しなくなった現在においては、図書館もまた、そこを訪れ、そこで静かに調べ物だけをする場ではなくなった。古今東西から集められた貴重な書籍を収める、いわば世界の収蔵庫である大英図書館もまた例外ではない。現在では、一般利用の可能な書籍については、英国中の利用者に対し、書籍のコピー・サービスや相互貸出はもちろん、レファレンス・サービスをはじめさまざまな図書館情報サービスを行っている。これに加えて特に興味深いのは、研究開発部を置き、図書館情報サービスに係わるシステムの開発実験をも行っている点である。大英図書館もまた、図書館情報なるものの役割を常に率先して模索しているのである。

今は、資料のデジタル化が進み、貴重な書籍もその一部はThe British Library Online Gallery (http://www.bl.uk/onlinegallery/homepage.html)というホームページにおいて世界中から見ることができる。

大英博物館には、円形読書室だけが、かつての図書館なるもののイメージと共に残り、新しい大英図書館には、所蔵物と機能とが全面的に移された。図書館情報の無限の有効活用という大英図書館の実験は、始まったばかりなのである。



情報検索サイト紹介

# 「同志社大学学術リポジトリ」の現状と今後
## ～国内外における機関リポジトリの潮流～

同志社大学学術リポジトリ(http://elib.doshisha.ac.jp/)は、2008年9月現在、研究紀要(約8,900論文)、研究報告書(約190論文)、博士論文(要旨)(64論文)、学内発行物(1タイトル)、貴重書画像(277タイトル)の本文ファイルなどが登録されています。収録されている本文については10,000タイトルの登録が間近となってきました。

大学ホームページ>図書館ホームページ>学術リポジトリ(http://elib.doshisha.ac.jp/)

### 学術リポジトリの普及

本学学術リポジトリのようなシステムは一般的に「機関リポジトリ」と定義されていることは前回のセンター報32号でも触れましたが、2008年9月現在、日本では試験公開分を含め85の、世界全体では1120の大学・研究機関が構築し公開しており、年々増加しています。

ちなみに「Webometrics Ranking of World Universities」が2008年7月に発表している世界のリポジトリランキングで、「同志社大学学術リポジトリ」は190位(日本国内8位)となっています。

特に日本国内でのリポジトリの普及については、国立情報学研究所(NII)が中心となり「学術機関リポジトリ構築連携支援事業(次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業)」の実施が大きな起爆剤になっています。この事業は2004年度から実施されており、本学も2006年度からこの事業に採択されサービスの構築に大きく寄与しています。

### 今後の展開

このように本学や国内外でのリポジトリでは個別のシステムで公開するだけではなく、利用者に対していかにスムーズにアクセスできるかについての技術開発を進めています。

本学の場合は、すでにDOORSから検索に対応したり、他の検索エンジン等からのアクセスが可能であるなど、すでに実現されている内容もありますが、学内外では様々な取り組みが行われています。

日本国内では、現在国立情報学研究所が運営しているCiNii(NII論文情報ナビゲータ)において、論文が機関リポジトリに登録されている場合に各リポジトリの検索結果へのリンクボタンが貼られるようなサービスが開始されました。初期段階ではまだ一部のリポジトリのデータしかリンクされていませんが、将来的には他大学のリポジトリに登録されている多数の論文について本文参照が可能になります。このことにより本学の学術リポジトリに登録された論文についても学内外の研究者や利用者に対しての可視性が一段と高まることが期待されます。

今後も学内で生産された学術コンテンツの登録を引き続き実施します。電子化された学術コンテンツについて登録希望をされる場合は、情報サービス係までご連絡ください。

同志社大学学術リポジトリ

CiNii

"Webometrics Ranking of World Universities", http://repositories.webometrics.info/index.html, (accessd 2008-10-16)

ご質問・お問い合わせ先
情報サービス課情報サービス係
E-mail ji-srv@mail.doshisha.ac.jp

# 学外の資料を利用するには

DOORSで検索しても学内所蔵の確認ができない場合は、DOORSの 他大学所蔵の検索 を押して、所蔵する学外図書館を確認してください。所蔵の確認ができれば、検索結果を印刷し、**カウンターへ手続きにきてください。**

## 学外の図書館を訪問し資料を利用する場合

- 図書館スタッフが閲覧訪問依頼書を作成し、相手館に連絡した上で紹介状を発行いたします（相手館からの回答には約1日程度必要です）。
- 連絡の際には、あらかじめ訪問予定日を3日間～１週間の範囲で特定する必要があります。
- 依頼した当日の訪問は難しい場合もありますので、余裕をもってお申し込みください。
（開館時間や利用条件などは、訪問閲覧を希望する図書館のホームページで確認してください。）

※資料は相手館の館内での利用となり貸出はできません。コピーの可否等についても相手館の条件に従うことになります。
※訪問予定日を変更もしくはキャンセルする場合は、相手館への連絡が必要です。必ず本学の図書館スタッフに連絡してください。

## 現物借用サービス…学外の図書館から資料を取り寄せる場合

**費用（往復送料、手数料）は申込者負担となります。**

- 学外の図書館から図書を取り寄せることができます。
- 現物借用サービスは、DOORSから申し込むこともできます。 借用依頼

※借用できるのは図書のみです。雑誌の取り寄せはできません。下記文献複写サービスをご利用ください。
※取り寄せに要する期間は、概ね10日間～2週間です。
※借用した資料の利用は、図書館内に限ります（館外への貸出はできません）。
※借用した資料のコピーの可否、借用できる期間は、相手館の利用条件により異なります。
※申し込み後のキャンセルは一切できません。

## 文献複写サービス…学外の図書館から資料の必要箇所だけをコピーして取り寄せる場合

**費用（送料+複写料、手数料）は申込者負担となります。**

- 学内に論文・記事などの所蔵館が見つからなかった場合は、学外の図書館から必要箇所のコピーを取り寄せることができます。
- 図書・雑誌のタイトル、巻号、著者、論文・記事タイトル、発行年、掲載ページを確認してから、カウンターへ手続きに来てください。
- このサービスの利用にあたっては、事前にデータベース「MAGAZINEPLUS」や「CiNii」等を検索し、結果を印刷してご持参ください。
- 文献複写サービスは、DOORSから申し込むこともできます。 複写依頼

※取り寄せに要する期間は、概ね10日間～2週間です。
※著作権法31条により、申し込みできるページは図書の場合、総ページ数の半分以下となります。また、雑誌の最新号の複写はできません。
※論文ごとに申し込みしてください（複数論文をまとめて１件として申し込むことはできません）。
※申し込み後のキャンセルは一切できません。

# 協定校の利用

同志社大学図書館は、近隣の大学と利用協定を結んでいますので、学生証や社員証の提示により、協定校の図書館を利用できる場合があります。ただし事前問い合わせを条件としている場合や、共通閲覧証の持参が必要な場合など、大学により利用条件が異なりますので、レファレンスカウンターにご相談ください。

### 同志社大学加盟の利用協定

下記URLより加盟大学図書館の利用条件が確認できます。

大学コンソーシアム京都共通閲覧システム
http://www.consortium.or.jp/contents_detail.php?frmId=428

私立大学図書館協会京都地区協議会共通閲覧証協定
http://www.jaspul.org/w-kyogikai/kyoto/sogo/eturan/manual.html

**注 意**

資料の所在確認や取り置きの措置はありませんので、訪問時に既に目当ての資料が貸出されていたり、他の利用者が使っていたり、所在不明だったりする場合があります。
特定の資料の利用を希望している場合は、事前に問い合わせをしてから訪問することをお薦めいたします。
事前問い合わせの手続きについては、左頁の**学外の図書館を訪問し資料を利用する場合**をご参照ください。

早稲田大学、関西大学、関西学院大学、立命館大学、龍谷大学、京都産業大学と相互利用協定を結んでいます。

図書館所蔵資料に限り事前問い合わせなしで利用することができます。
利用の詳細は次のとおりです。

**早稲田大学**
学部生・大学院生・専任教職員は、身分証（学生証・社員証）で、早稲田大学図書館（中央・戸山・理工・所沢の各館）所蔵資料の閲覧ができます。

**関西大学・関西学院大学・立命館大学**
大学院生・専任教職員は、身分証（学生証・社員証）で、各大学図書館所蔵資料の閲覧・貸出ができます。

**龍谷大学・京都産業大学**
専任教職員は、社員証で各大学図書館所蔵資料の閲覧ができます。

**注 意**

研究室所蔵資料を利用する場合は、左頁の**学外の図書館を訪問し資料を利用する場合**に従って手続きをしてください。

**お問い合わせ先**

今出川図書館……075-251-3980
ラーネッド記念図書館……0774-65-7240

## サービス利用案内

**今出川図書館**

| 施設・サービス提供時間 | 講義・補講・試験期間 | | | 休講・休暇期間 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 月～金 | 土 | 日 | 月～金 | 土 | 日 | 8/8～9/15（月～金） | 8/8～9/15（土・日） |
| 開架閲覧室・参考図書室・雑誌室<br>第3・4・5閲覧室 | 9:00～22:00 | | 10:00～17:00 | 9:00～22:00 | | 10:00～17:00 | 9:00～22:00 | 10:00～17:00 |
| 第1・2閲覧室<br>マルチメディアライブラリー<br>EU情報センター（EU i）<br>グループ学習室<br>点字・拡大読書室・対面朗読室<br>貸出・返却・予約<br>図書館　PCコーナー | 9:00～21:40 | | 10:00～16:40 | 9:00～21:40 | | 10:00～16:40 | 9:00～21:40 | 10:00～16:40 |
| 閉架書庫入庫・閉架資料出納 | 9:00～21:00 | | 10:00～16:00 | 9:00～21:00 | | 10:00～16:00 | 9:00～21:00 | 10:00～16:00 |
| レファレンスカウンター | 10:00～19:00 | 10:00～16:00 | ―― | 10:00～17:00 | 10:00～16:00 | ―― | 10:00～17:00 | ―― |

● **開講期間や休講期間、休館日等は毎年度変更されますので、詳細は図書館開館日程表をご確認ください。** 〈2008年度〉
● **各種お問合せは {月～金 9:00～17:00 / 土 9:00～12:00 までにお願いします。**

**ラーネッド記念図書館**

| 施設・サービス提供時間 | 講義・補講・試験期間 | | | 休講・休暇期間 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 月～金 | 土 | 日 | 月～金 | 土 | 日 | 8/8～9/15（月～金） | 8/8～9/15（土・日） |
| 開架閲覧室・参考図書・雑誌室 | 9:00～21:00 | 9:00～17:00 | 10:00～17:00 | 9:00～17:00 | | 10:00～17:00 | 9:00～16:00 | 10:00～17:00 |
| 第１読書室 | | | ―― | ―― | | ―― | ―― | ―― |
| マルチメディアライブラリー<br>書庫入庫<br>共同閲覧室・対面朗読室・点字室<br>貸出・返却・予約 | 9:00～20:40 | 9:00～16:40 | 10:00～16:40 | 9:00～16:40 | | 10:00～16:40 | 9:00～15:40 | 10:00～16:40 |
| レファレンスカウンター | 10:00～19:00 | 10:00～16:00 | ―― | 10:00～17:00 | 10:00～16:00 | ―― | 10:00～16:00 | ―― |
| 第2読書室 | 9:00～20:40 | 9:00～16:40 | ―― | ―― | ―― | ―― | ―― | ―― |
| パソコンコーナー（1階） | | | | 9:00～16:40 | | | 9:00～15:40 | |
| パソコンコーナー（2階） | | | 10:00～16:40 | | | 10:00～16:40 | | 10:00～16:40 |

● **開講期間や休講期間、休館日等は毎年度変更されますので、詳細は図書館開館日程表をご確認ください。** 〈2008年度〉
● **各種お問合せは {月～金 9:00～17:00 / 土 9:00～12:00 までにお願いします。**

# サイトライセンスソフトウェア提供サービスがスタート！（2008年4月より）

**学内パソコンで利用しているソフトウェアを自宅でも使いたい。でも、値段が高い！そんなお悩みを解消できるサービスです**

これまで情報処理実習教室に導入され、授業で利用されてきたソフトウェアのうち、教員の研究室や実験施設において、教育研究用途として多くの利用者が見込まれるソフトウェアについて、大学が一括で契約するスケールメリットを生かし、無料または安価で利用できるサービスをこの春より開始しました。

このサービスにより、大学が管理しているパソコンはもとより、教職員や学生が自宅で購入されているパソコンについても、これらソフトウェアを利用することが可能となります。
（※各ソフトウェアによって使用条件や貸出･購入方法が異なります。）

## サイトライセンス利用なら好きな時間に好きなだけ利用できる！

これまでにも、「リモートデスクトップWeb接続」というシステムにより、インターネットを利用して自宅等のパソコンとオープン利用室のパソコンを接続し、大学内情報環境に設置したパソコンを自宅から操作することが可能でしたが、利用時間が制限されることなどが課題でした。

しかし、今回のサービスで、好きな時間に好きなだけ利用したい、というご要望にお応えできるようになりました。

■詳しくは本学HP「情報教育環境ナビゲーション」をご覧いただくか、下記の情報メディア課までお問合せください。
**http://www.doshisha.ac.jp/it/**

**Q サイトライセンスってなに??**

**A** 大学や企業などが、ソフトウェアのライセンスを組織単位で購入する方法です。利用者数やパソコンの台数に応じて、店頭でパッケージ版のソフトウェアを多数購入するよりも安いライセンス料での利用が可能になります。

## 本学が提供可能なサイトライセンスソフトウェア一覧

### Microsoft Windows Vista Business

教職員

WindowsXPの後継のVistaの中でBusinessにアップグレードすることでご利用いただけます。その他のMicrosoftのOSに関するご利用に関しては、情報メディア課までお問合せください。

### SPSS16.0J for Windows

教職員　学生

統計解析を行うソフトで、比率分析、データ管理、算術計算、線形複合モデル、一元配置分散分析、最適尺度法による回帰、カテゴリ主成分分析などの機能を備えています。グラフィック処理も容易です。

### Microsoft Office2007 Enterprise

教職員

Word,Excel,PowerPoint,Accessの他、OutlookやInfoPathなど様々なソフトウェアがご利用いただけます。

### SAS(R)9 Windows版

教職員　学生

統計解析に加えてレポート作成、グラフ作成、データ検索、予測、シミュレーションといった数多くの用途に使用することができます。

### Pro/ENGINEER wildfire3.0

教職員

コンピュータを利用し、設計を行うことが可能です。また、圧力の加わり方や重力、慣性といった要素を代入し、シミュレーションすることも可能です。

### Maple11

教職員　学生

数式処理をはじめ、数値計算やグラフィックやアニメーションを行うことが可能です。変数を含む計算が可能であり、微分方程式･線形代数･積分･連立方程式などの問題を解くことができます。

**教職員**
･貸出(全ての製品):情報メディア課に申請書を提出
･Microsoft製品のご購入:同志社生協弘風館ショップ(今出川)
紫苑館メディアショップ(京田辺)

**学生**
･SPSS･SASのご購入:同志社生協弘風館ショップ(今出川)
紫苑館メディアショップ(京田辺)
･Mapleの貸出:情報メディア課(京田辺)窓口

**お問い合せ先:情報メディア課教育システム係**
E-mail:jt-media@mail.doshisha.ac.jp
[今出川校地:寧静館1F] TEL:075-251-3990(内線:5842)
[京田辺校地:情報メディア館1F] TEL:0774-65-7230(内線:7232)

※Microsoft、Windows、Windows ロゴは、米国Microsoft Corporation および/またはその関連会社の商標です。
※その他記載されている、会社名、製品名、ロゴ等は、各社の登録商標または商標です。



# Macを体感する。

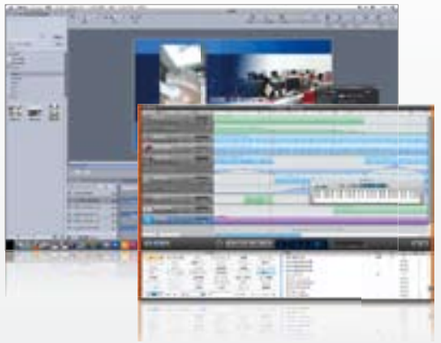
**使ったことのない人も。もちろん、家でお使いの人も。**

## Macintoshって簡単で、楽しい！

**パソコンはWindowsしか使ったことがないというアナタ、ちょっと触ってみませんか？**

携帯音楽プレーヤーiPod。最も薄いノートパソコン、MacBookAir。マルチタッチディスプレイの携帯電話、iPhone。これらをつくっているのが、ご存知Apple！
Macの愛称でおなじみのMacintoshは、直感的な操作性と多種多様なソフトウェアで初心者はもちろん、プロのクリエーター達の要求にも応えるAppleのコンピュータです。
デザイン、印刷、音楽、映像…。マルチメディアコンテンツが生まれる現場で活躍するMac。マルチメディアラウンジでは、そんなMacをいつでも気軽に利用することができます。

プロが使っているなんて難しそう…？大丈夫、Macなら初めてでも、選んで組み合わせるだけで音楽も映像もDVDも作成できるんです。



たとえば、GarageBand（ガレージバンド）というソフトなら、たくさん用意されている素材を並べるだけで、音楽の知識がなくても簡単にカッコいい音楽がつくれます。iMovieというソフトを使えば、お気に入りのシーンをつなげたり、特殊効果やBGMを加えてオリジナルムービーがつくれます。作った音楽と映像を組み合わせてiDVDでメニューから選んで設定していくと、あっという間にオリジナルのDVDまでできちゃいます！

Macに興味はあるけど触る機会がないというアナタ、いろんなソフトを使ってみたいというアナタ、ぜひマルチメディアラウンジで試してみてはいかがですか？

**マルチメディアラウンジ**
今出川校地:寧静館　1F
京田辺校地:ローム記念館　グランドフロア

## 行ってみよう、マルチメディアラウンジ！

**さわってみたいけどよくわからない…。本当にできるか不安…。
大丈夫。初めてでもスタッフがサポートします。まずは来て見て触ってみてください！**

### パソコン利用者講習会 ～ マルチメディアコース ～

**春学期に大好評だったパソコン利用者講習会を秋学期も開催中！**
Adobe Photoshop入門 / Adobe Premiere / Adobe Illustrator入門 / Dreamweaver / Flash
GarageBand / Adobe Photoshop･Adobe Illustrator応用
各講座の概要については、HP(http://www.doshisha.ac.jp/it/skilup/detail/pdf/multi_contents.pdf)をご覧下さい。

### FinalCutStudio講習会

**iMovieは使えるけど、もっと高度な編集をしてみたいという方に朗報！！
実際の映画やＴＶの画像編集の現場でプロが使っている画像編集ソフトFinalCutStudioの講習会も企画中！**
日程等の詳細は、日程が決まり次第本学ホームページ「情報教育環境ナビゲーション」にてお知らせします。
情報教育環境ナビゲーション:http://www.doshisha.ac.jp/it/

所蔵資料紹介

# 伊達家関連 香道茶道資料

所　　蔵　今出川図書館　貴重室
請求記号　792‖M9212
　　791.5‖S9482　他14件

今年度の共通学術資料費で購入された「伊達家関連香道茶道資料」がある。伊達家とは勿論、伊達政宗（寛永13年没）で著名な仙台の大名家である。

仙台市経ヶ峯には、仙台藩としての初代から三代まで、政宗・忠宗・綱宗の霊廟、瑞宝殿・感仙殿・善応殿がある。本来の建物は戦災で焼失して再建された。かつてこの墓の調査が行われ、様々な副葬品が確認された。特に善応殿跡からは沈香を炷くための金製の銀葉や名香包が発掘されており、今も瑞鳳殿資料館に展示されている。また貞山公伊達政宗は、細川家から譲り受けた伽羅の名香に、能のシテ台詞から「柴舟」と命名した（図1）。いまは分家の宇和島伊達家にその一木四名の名香「柴舟」が残る。また堺の茶人今井宗久の子宗凡との関係も深かった。伊達政宗又は父輝宗所用と伝わる鞍の鐙には、源氏香図の透かしが有る。また、綱宗の突然の隠居の後にわずか二歳で藩主を継いだ伊達綱村は茶の湯を好み、『伊達綱村茶会記』（原本所在不明。1冊を除いて翻刻有）『学恵茶湯志』（仙台市博物館蔵）という、元禄から宝永への貴重な茶会記を二つも残しており、茶の湯の折に様々な名香を炷いたことが確認される。さらに、御家流宗家三条西公正氏は、度々仙台を訪れて香道の指導に当たった。

此の様に、伊達家は香茶と関係が深かった。そして今回の収書の殆どには、「伊達伯観瀾閣図書印」という朱文方印（図2）が捺されている。伊達家の蔵書はかつて仙台城二の丸の書庫御物置に収蔵されていた。「観瀾閣」とは伊達家の堂号で、伊達家から仙台文庫会へ寄託した際の伊達家の所蔵を示すための押印である。仙台文庫会とは、旧仙台藩士作並清亮等が明治26年に設立した会であり、閲覧所も設けていた。29年に伊達家は蔵書のなかから冊子体の和漢書を選んで寄託したのであった。仙台文庫会は明治37年に解散し寄託書はまた伊達家に戻ったが、昭和24年に宮城県図書館に収蔵され「伊達文庫」となるまでに外に出たものもあった。今回の収書はその流出したものを含む訳である。

このうち『名香録』（図3）は、米川流の名香録を基準にしたと思われ、伊達家歴代の好みの名香が記載されているという点で大変貴重な書である。また、個々の香についても興味ある記述が多く、いずれ翻刻を公表する。沈香の名品の61種の冒頭は法隆寺所蔵の「太子」であり、第二が東大寺正倉院に伝わる「蘭奢待（ランジャタイ）」である。この「太子」については、此の度東京大学から学位を授与されることになった濱崎加奈子氏の博士論文に詳しい記述がある。特に「太子＝法隆寺」は淡路島に漂着した香木であって、聖徳太子がその木から仏像を作らせたといわれ、それ以前に同様に漂着した楠で大和吉野寺（比蘇寺）の本尊を作ったという伝説との混淆がある。

『名香録』には次のような記述がある（図4）。

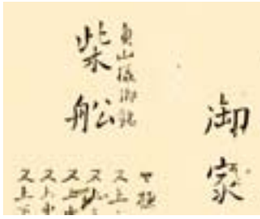


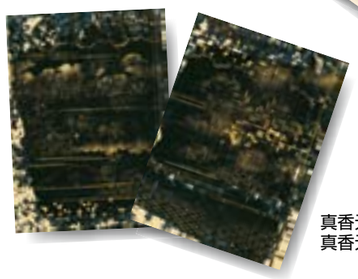
図1　伊達政宗命名の名香「柴舟」

図2　「伊達伯観瀾閣図書印」

図3　『名香録』冒頭の「六十一種名香」

春龍編の『梅のしるべ』を含む米川流香書

香元点前の書など



真香元式解（乾）
真香元式図（坤）

音羽　サソラ上下　春龍上ル
木少　和木手本木　御伽羅方無之　色黒キ杉ナリ黒サソラ珍奇ノ香ナリ
〔和州芳野山比蘇寺杉〕
芳野山　サソラ上下　春龍上ル
木少　和木最上　御伽羅方無之　珍奇ノ香ナリ　古相古代ヨリ之杉ニテ古相其ママ唱申候　和州芳野山比蘇寺ヨリ到来ノ木ナリ　此寺聖徳太子ノ建立ノ寺ナリ　太子ノ故木ト云々　当住之大和尚ヨリ春龍ニ賜　名ヲ芳野山ト申　名モ故事有之ヨシ

沈香は輸入品であったが、日本の木でも由緒あり香りが発つものを「和木」として賞翫した。上記は和木「音羽」「芳野山」の記述であり、いずれも杉である。香道米川流の宗匠、浅草の菆香舎春龍（しゅきょうしゃしゅんりゅう）から伊達家に献上されたことがわかる。「芳野山」は比蘇寺の杉であり、本尊に関係する木ではないが、「和木最上」とされ、かつ「太子ノ故木」ともされていた。このような詳細な記述もまた珍しい。

本収書は茶道書として『仙茶集七部書』（外題「仙茶集（せんさのしゅう）」）。（図5）を含む。本書は7つの茶書の集成であり、「仙茶集」はその冒頭の茶書のみを指しており、全体の書名としてはふさわしくない。「爽籟館文庫」の印（図6）があり、阿部房次郎（昭和12年没。東洋紡績社長、コレクター）の旧蔵であったことがわかる。本書はかつて仙台の東北帝国大学で教授福井利吉郎によって写真が撮影された（伊達家との関連は未詳）。その写真帖が実業家かつ大茶人益田鈍翁から茶湯研究家松山吟松庵に送られた。松山はそれをほぼ2日で転写した。そして創元社版『茶道全集』に、松山は自らの写本から翻刻を行った。このため、かなりの翻刻の誤りと恣意的な書き換えがある。その原本が本学に収蔵されたことは誠に喜ばしい。さらに前述の写真の原板は戦災で焼失したことが確実だが、写真帖は奇しくも伝存しており、本学文化情報学研究科博士課程（後期課程）に在籍中である山田哲也氏の職場、今日庵文庫に収蔵されている。これもまた由縁といえるであろう。本書については山田氏によって学部紀要『文化情報学』に「唐物凡数」の翻刻等の紹介が行われる予定である。

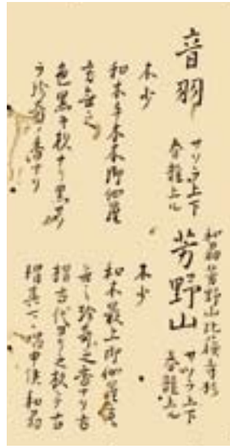


図4　和木「音羽」「芳野山」

図5　「仙茶集」冒頭 大壷之類.
三日月 松嶋 九重 から始まる

図6　阿部房次郎の爽籟館所蔵印

冒頭の「仙茶集」は、茶湯名物道具名が羅列され、所蔵者は殆ど記載が無いために、永らくその正体が不明なものであった。しかし実は、天文年間末頃の茶湯名物記（現在「清玩名物記」と称するものに相当する）から省略して転写したことをかつて明らかにした（『茶の古典　茶道学大系十』（淡交社。平成13年）所収、竹内順一・田中秀隆・矢野環「名物記の生成構造」）。それが収蔵されることになったのもまた縁であろう。

今後このコレクションを有効に活用していきたい。このために文学部有志とも共同して芸道文化研究者会議を設置している。また、電子的な公開についても、翻刻のポップアップも含めて図書館と相談しているところである。

（文化情報学部 教授　矢野環）

展示紹介

# クラーク記念館は語る
## ～5年の修復をこえて～

**期間：2008年11月1日（土）～12月27日（土）**
**場所：同志社大学総合情報センター　ラーネッド記念図書館２階展示コーナー**

美しいおもむきを見せるクラーク・チャペル

1894年(明治27年)クラーク記念館開館以来、その印象的な尖塔をもつドイツ ネオ・ゴシックの建物は、1979年には国の重要文化財に指定されました。そして１世紀が過ぎた今も同志社大学今出川キャンパスの象徴的な存在になっています。近年は老朽化が進み、阪神・淡路大震災での被害をきっかけに構造調査と耐震診断を実施し、2003年から同志社創立125周年を記念して大規模修復工事がなされました。

この秋の展示では、よみがえった同館にスポットを当てます。当時の面影を彷彿とさせるこれまで直接目にすることができなかった展示品や、写真等をとおして同志社の歩んできた道を垣間見ていただけると幸いです。

研究トピック

# SINET3を利用した未来の電話「t-Room」の実験

「どこでもドア」があったらどんなに便利でしょう。これはドラえもんの世界の話ですが、現実の世界でも、電話は音声を用いた、テレビ電話は映像と音声を用いた「どこでもドア」であると言うこともできます。同志社大学理工学部の共創情報学研究室ではNTTコミュニケーション科学基礎研究所と共同で、電話などよりもっと「どこでもドア」に近い、未来の電話t-Roomの研究開発を行っています。t-Roomは、大型ディスプレイとカメラ、スピーカ、マイクからなる壁面に囲まれた未来の部屋です。離れたt-Roomにいる人どうしは、あたかも同室にいる様な感覚を持って話をしたり作業をしたりすることができます。また、t-Room内の出来事は全て記録され、t-Roomにいる人は過去の出来事に時差参加することもできます。

これまでt-Roomは商用の光ネットワークを用いてつながれていました。しかし、研究の進展に伴ってより高い通信能力が求められるようになり、今年度からは商用ネットワークの数十倍にも及ぶ能力を持つ次世代学術情報ネットワークSINET3を利用することになりました。この強力なネットワークを用いることで、高い通信品質を得られるだけでなく、多数のt-Roomを同時に接続する多地点接続の実験なども可能となります。

私たちの「どこでもドア」では体ごと空間を移動することはできません。しかし、等身大の映像と音声を通して、小さなケータイやモニター画面に閉じ込められていたコミュニケーションを解放し、自由で自然な遠隔コミュニケーションを実現することができるものと考えています。

（理工学部 教授　片桐　滋）

国立情報学研究所(NII)が運営している学術情報ネットワーク(SINET)は、全国の大学研究機関を結んでいます。
本学は、私立大学としては全国に先駆けて、この接続拠点校(ノード校)に選定されました。
2007年度からは、より高速・高品質なサービスを提供する次世代学術情報ネットワーク(SINET3)に接続され、最先端の教育・研究基盤が構築されました。本プロジェクトもその研究・実験・評価のひとつです。

t-Roomを用いた実験風景

みなさんはモンゴルと聞いてどのようなことを思い浮かべるでしょうか。朝青龍や白鵬に代表される力士でしょうか？果てしない大草原で馬を走らせ、家畜と共に昔ながらの生活を営む遊牧民の姿でしょうか？馬頭琴やホーミーなどの伝統芸能でしょうか？あるいは、ユーラシア大陸の大部分を支配したモンゴル帝国皇帝チンギス・ハーンでしょうか？

私にとってのモンゴルは、いつも「ただいま！」と言える第二の故郷を思わせる場所です。初対面の時は、素朴で愛想のない人々のように思いますが、表面的なやさしさではなく、心を内側からあたためてくれる人々が住んでいる国です。今回は、私がホームステイをした遊牧民の生活について紹介しましょう。

遊牧民は、ゲルと呼ばれる伝統的な移動式住居に住んでいます。日光や風向きを考慮し、南の方向に扉が設置されています。基本的に、ゲルに入って左側（西側）が男性用もしくは訪問客用、右側（東側）が女性用の空間となっており、中央にストーブが置かれています。このストーブは、料理を作る時にも利用され、燃料は家畜の糞を利用することが一般的です。

また、ゲルの中には特に仕切りがあるわけではないため、着替え等のプライバシーは全くありません。

このゲルを日本式に表現すると、家族5人で、6畳１間、水道・電気なし、トイレ・洗面所は大空の下という状態で、非常に厳しい生活のように思います。（ただし、電気については、自家発電をしているゲルもあります。）

しかし、遊牧民と生活を共にすると、彼らにとっては、果てしない大地が我が家であり、ゲルは家族団欒の一つの部屋に過ぎないと感じさせられます。限りなく人口密度の低い大地で、家族が助け合い、強い絆が日々育まれているように感じます。

また、季節に応じて移動するため遊牧民には住所がありません。そのため、ホームステイをした家族と再会を果たすには、私の描いた家族の似顔絵（モンゴル語で名前も記載しています。）を持参します。

偶然出会った遊牧民にその似顔絵を見せると大抵、再会したい家族が今、この大地のどこにいるのかすぐに教えてくれます。広大な大地を馬で駆け抜け、待ちに待った再会を果たすことができた時の喜びは、言葉では言い表せないものがあります。

遊牧民は、都会に住んでいる人たちと違い、人と出会うことが少なく大地における人との出会い、増してや偶然の出会いを非常に大切にし、大地に生きる仲間としてお互いの情報や消息を共有し、助け合っていることから居場所もすぐにわかるのです。

さらに、遊牧民は驚くほど視力がよく、私には全く何も見えない方向を指さして、突然馬を走らせたかと思うと、群れから取り残された羊やヤギの赤ちゃんを助け出すこともよくあります。これほど超人的な視力だから遠く離れたゲルも簡単に見つけてしまうのだろうと感心します。

遊牧民の朝は日の出と共に始まり、放牧している子馬を家族が協力して捕まえます。夜間に放牧していても朝になるとゲルの近くに戻ってきているから不思議です。

そして子馬を一列につなぎ、さらに母馬を捕まえて子馬にミルクを与えさせます。数回子馬が喉を鳴らした後、可哀想ですが子馬を母馬から引き離します。

その後すぐにバケツを掴み、子馬の変わりに人間が母馬のミルクを貰うことになります。母馬は、自分の子供にしかミルクを出さないため、遊牧民は昔からこの方法でミルクを得ているそうです。この方法での搾乳を一日に何度も繰り返します。そして、この馬のミルクは、遊牧民の子供たちが一生懸命に掻き回すことによって発酵し、有名な馬乳酒となるのです。その他、このミルクを利用して、様々な乳製品が作られています。

馬乳酒は、遊牧民にとって夏の間だけ飲むことのできる貴重な栄養源です。アルコール濃度が低く、ひと夏この馬乳酒以外はほとんど口にしない遊牧民もいるそうです。

ただ、飲み慣れていない日本人が一度にたくさん飲むと、お腹を壊してしまうので注意が必要です。